

生徒指導だより

今回の生徒指導だよりは、3年生の修学旅行の話題が中心になっていますが、1, 2年生のみなさんもぜひ読んでみてください。

行事で得られるもの・学ぶこと

5月15日（木）～17日（土）の3日間、3年生は修学旅行に行ってきました。

1日目は万博会場での班別行動、2日目は京都市内の班別行動、3日目は東映太秦映画村の見学と嵐山散策（保津川下りが天候の関係で中止になったため）を実施しました。

初日の万博での班別行動は、学生団体の来場が多く、入場が12時を過ぎてしまったこと、人気のパビリオンの待ち時間が想像を超えるもの（イタリアパビリオンは3時間待ちという案内が出ていました）だったことなど、予定通りにはいかなかった面もありましたが、「人」、「モノ」、「食」などを通して「世界」に触れる貴重な機会になりました。

2日目の京都では、事前に行った見学場所や昼食場所の選定に基づいた班別行動を行いました。「予定のバス（電車）に乗れなかった」、「見学時間が予定していたより時間がかかった（からなかった）」、「昼食を予定していた場所が混雑していて昼食場所を変更した」、「事前学習の段階では知らなかった新しい発見があった」など、丁寧に振り返ることで、今後の学校生活に生かすことができる多くの経験をすることができました。

3日目は天候の関係で予定通りのスケジュールが消化できませんでした。貴重な機会だったので、これは残念でした。

3日間を通して「班別行動」の場面が多くありました。その班別行動で得られるもの・学ぶことは何でしょう。人によって答えは様々で、ここに載せることができないのですが、「思いやりの気持ち」と「時間を意識することの大切さ」が挙げられると言えています。班別行動以外にも、部屋での時間、クラス単位での移動など様々な場面で集団（グループ）での行動をする場面がありました。

思いやりの気持ちというのは、相手の立場になってものごとを考えること、さりげなく気配りができることがだと思いますが、みなさんは3日間の行動の中で、そんな気持ちを持って班別行動やクラス単位での行動をすることができたでしょうか。「ノリ」や「勢い」に任せて周りが見えなくなってしまっていた場面がなかったか。ぜひ振り返ってみてください。そして、その「思いやり」を、体育祭や鶴翔祭のような行事で発揮することはもちろんですが、日常生活の中でも見せてください。それが自分自身と周りの仲間の過ごしやすさにつながります。

ほかの行事でもそうですが、特に宿泊行事では時間を意識した行動が求められます。「〇〇時に～」、「〇〇時までに～」、「〇〇時〇〇分から〇〇分に～」という場面が修学旅行の中ではたくさんありました。それを一人一人が意識することができたでしょうか。そういう点では課題が残った人が多かったように感じました。3年生は進路選択の場面で、重要な点について、「〇日までに」や「〇日に」といった期限を切られた話が出てきます。今回、時間に対する意識が十分でなかった人も、今回の経験を学びとして、今後の大変な選択に向き合っていってください。